

平成29年度

みんなの予算

心豊かな人材を育み、地域産業が発展し
にぎわいのある、生き生きとした暮らしができるまち



【 も く じ 】

まちの予算	1
お金の使い道	4
生涯を通して学び楽しむまちづくり	4
健やかで安心なまちづくり	6
力強い産業がいきづくまちづくり	8
くらしやすさを実感できるまちづくり	10
自立をめざすまちづくり	12
その他参考資料	14
決算状況	14
主な統計資料	18
主な公共施設	22

平成29年6月
宮城県美里町

はじめに

本町は、児童・生徒数の減少に伴う学校教育環境の整備、待機児童解消に向けた子育て環境の充実、農業をはじめとした産業の振興のほかに、人口減少対策、経年劣化した公共施設の管理など課題が山積しております。平成29年度は、これらの課題を解決するため「美里町総合計画・美里町総合戦略」の着実な実施に取り組んでまいります。

「美里町総合計画・美里町総合戦略」を推進するに当たり、平成28年9月に「第3次美里町財政健全化計画」を策定したところでありますが、普通交付税の合併市町村に対する加算措置額が段階的に引き下げられ、平成32年度には加算措置が終了するため、3億円程度の普通交付税（一般財源）の減収が見込まれます。

本町が将来にわたり持続可能な行財政運営を行っていくためには、安定した自主財源の確保が必要不可欠でありますことから、引き続き町税をはじめとした自主財源の確保に努めてまいります。そのためには、納税者の利便性を更に高めるため、コンビニ納付をはじめとした納付環境の整備、早期納付を促す納付推進センターによる納付の呼びかけ及び次代を担う小中学生への租税教育等を実施してまいります。

施設の整備に向けて取組を進めておりました産業活性化施設の建設につきましては、本町の優先課題、財政事情を考慮し、事業の実施時期を延期したところです。今後、ますます厳しい財政運営を迫られることは明らかであることから、歳出の抑制に努めるとともに、行政サービスの在り方を見直していかなければなりません。このことから、「第3次美里町行政改革大綱」を、早期に策定することとしております。

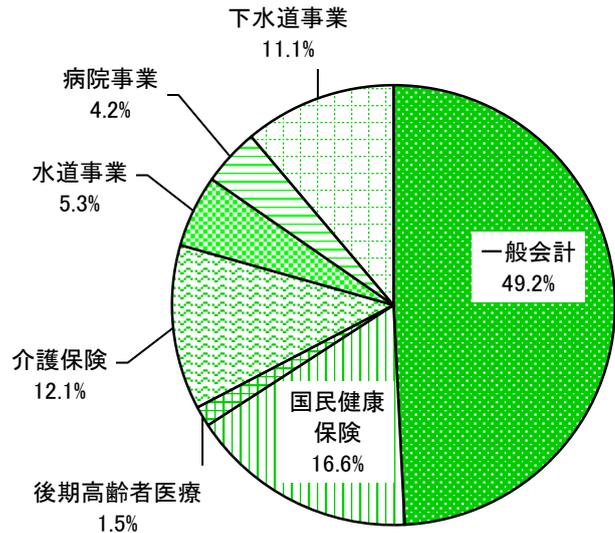
今後も厳しい財政状況が予想されますが、財政の健全化（歳入を増やし、歳出を抑制し、将来に向けて蓄えること。）を図りながら、引き続き、本町の将来像であります「心豊かな人材を育み、地域産業が発展し、にぎわいのある、生き生きとした暮らしができるまち」の実現に向け、取り組んでまいります。

まちの予算

1 平成29年度予算状況

【町の会計の種類と予算規模】

一般会計	100 億	37 万円
国民健康保険	33 億	7,781 万円
後期高齢者医療	3 億	288 万円
介護保険	24 億	6,979 万円
水道事業	10 億	7,073 万円
病院事業	8 億	5,344 万円
下水道事業	22 億	4,815 万円
合計	203 億	2,317 万円

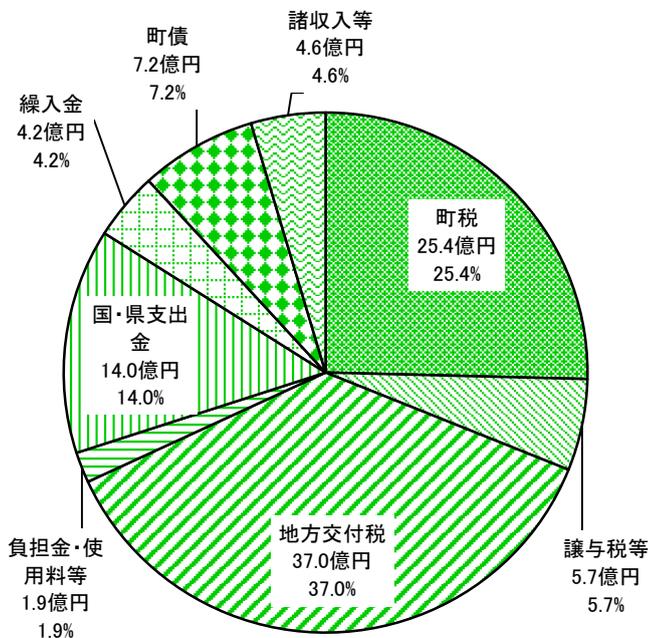


美里町の予算は、目的ごとに7種類の会計（財布）に分かれています。一般会計のほかに3つの特別会計と3つの公営企業会計があります。

【一般会計の中身】

それでは、町の予算で1番金額の大きい「一般会計」を紹介します。

収入 合計 100億円



一般会計の収入の大部分は、皆さんが納めている税金となっています。収入の内容は、大きく分けると次のとおりとなります。

○町税

町民税や固定資産税など、町へ納付する税金です。

○譲与税等

自動車重量税や自動車取得税など、国や県に納付された税金の一部が町に交付されるお金です。

○地方交付税

国税である所得税、酒税、法人税及び消費税の一定割合を財源として、全国の市町村が同水準のサービスを住民に提供できるように国から交付されるお金です。

○負担金・使用料等

町営住宅の家賃や保育料など使用者の負担するお金です。

○国・県支出金

国や県からの補助金などです。

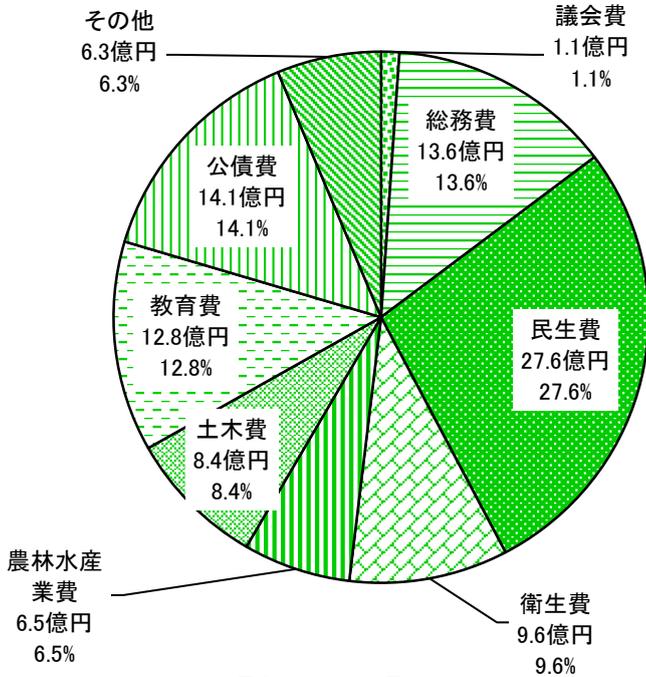
○繰入金

収入不足の場合などに、基金（貯金）を取り崩して収支のバランスをとります。

○町債

大規模な道路建設や施設整備などの借入金です。

支出 合計 100億円



【性質別】

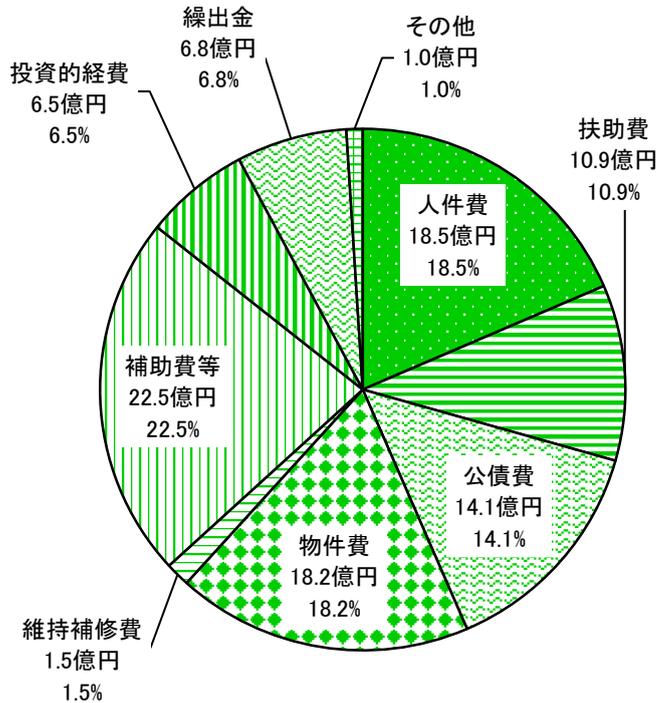
町の支出をどんな「経費」に使うかで区分すると次のとおりです。

- 人件費
職員の給料、手当、委員等の報酬などです。
- 扶助費
生活などに困っている方を支援する費用です。
- 公債費
借入金の返済額です。
- 物件費
事務用品の購入、光熱水費や郵便料、施設の掃除や警備に関する費用などです。
- 維持補修費
道路や建物などが壊れたときの修理費です。
- 補助費等
行政区などのさまざまな団体への補助金などです。
- 投資的経費
道路や建物などを整備する経費などです。
- 繰出金
一般会計以外の特別会計を支援する費用です。
- その他
貯金をしたり、皆さんへお金を貸したりする費用です。

【目的別】

町の支出をどんな「目的」に使うかで区分すると次のとおりです。

- 議会費
議会議員の報酬や議会だよりの発行などの費用です。
- 総務費
庁舎などの施設管理費や住民バス運行費、住民票の交付などに関する費用です。
- 民生費
障害のある方やお年寄りへの福祉サービスや子育て支援に関する費用です。
- 衛生費
健康診査やごみ処理などに関する費用です。
- 農林水産業費
産業振興に関する費用です。
- 土木費
道路の整備などに関する費用です。
- 教育費
学校など教育に関する施設管理や事業の費用です。
- 公債費
借入金の返済額です。
- その他
商工業の振興、雇用の創出、消防団の活動などに関する費用です。



【目的別】と【性質別】はどこが違う？

たとえば、「小学校の先生が、学校の授業で使うために紙を買った」場合、
【目的別】は、学校の授業で使うので「教育費」、
【性質別】は、紙を買うので消耗品の購入費となり「物件費」に分類されます。

2 一般会計を家計に例えると!?

町の予算は、金額が大きく、また、行政用語での説明が多いため、イメージすることが難しいと思います。
そこで、平成29年度の予算額を年収400万円として家計に例えてみました。



【支出】

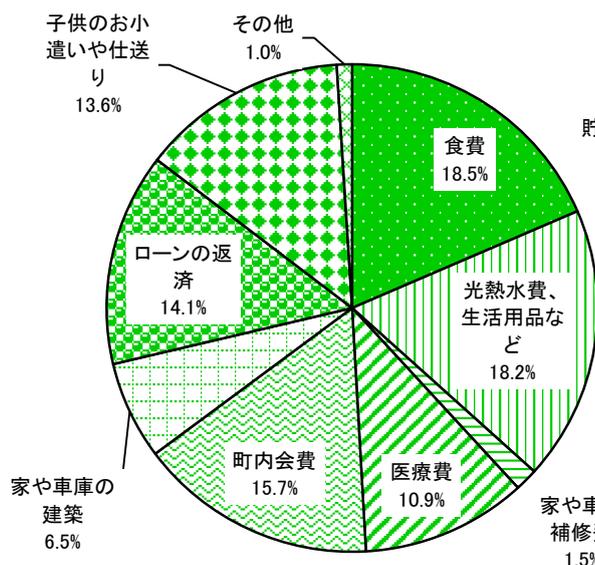
食費 (人件費)	739,652円
光熱水費、生活用品の購入など (物件費)	728,292円
家や車の補修費 (維持補修費)	59,209円
医療費 (扶助費)	437,549円
町内会費 (補助費等(公営企業への補助金除く。))	628,702円
家や車庫の建築 (投資的経費)	259,754円
ローンの返済 (公債費)	563,303円
子供のお小遣いや仕送り (繰出金、公営企業への補助金)	541,940円
貯金 (積立金)	8,219円
株式投資 (投資及び出資金)	432円
友人へ貸したお金 (貸付金)	28,948円
緊急時の備え (予備費)	4,000円
支出合計	4,000,000円

【収入】

給料 (住民税、使用料など)	1,092,777円
親などからの援助 (地方交付税、補助金など)	2,268,616円
貯金の取崩し (基金の繰り入れ)	167,315円
ローンの借入れ (町債)	286,869円
その他 (諸収入など)	184,423円
収入合計	4,000,000円



【支出】



【収入】

